



第82期  
中間報告書

(平成29年3月1日から  
平成29年8月31日まで)

岡谷鋼機株式会社

証券コード 7485

# 株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社第82期上半期(第2四半期連結累計期間：平成29年3月1日から平成29年8月31日まで)を終了いたしましたので、ここに営業の概況等をご報告申し上げます。

平成29年10月

取締役社長

岡谷篤一



## 営業の概況

### ◆ 営業の経過及び成果

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、先行き不確実な状況が続いていますが、堅調な米国経済に加え、中国及び新興国経済が持ち直し、緩やかな成長が持続しました。

日本経済は、輸出と設備投資の伸びなどで製造業の生産活動の持ち直しが続き、また、個人消費に回復の兆しが見られ、堅調に推移しました。

## 営業の概況

このような状況下にあって、当第2四半期連結累計期間における売上高は、4,077億2百万円で前年同期比14.1%の増収となりました。

損益につきましては、売上総利益が285億2百万円（前年同期比13.9%増）、営業利益が84億55百万円（前年同期比40.8%増）、経常利益が108億91百万円（前年同期比30.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は74億78百万円（前年同期比36.3%増）となりました。

中間配当金につきましては、1株あたり90円とし、支払開始日を10月31日とさせていただきます。

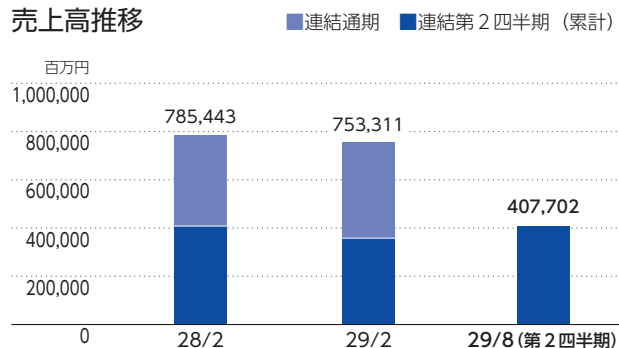
### ◆ 通期（平成29年度）の見通し

通期の業績予想につきましては、概ね計画通りに推移しており、売上高は8,200億円を予想しております。

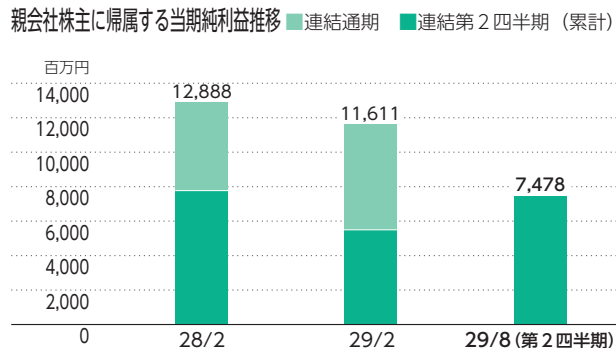
経常利益は195億円、親会社株主に帰属する当期純利益は130億円を予想しております。株主の皆様には、今後とも一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

# 財務ハイライト

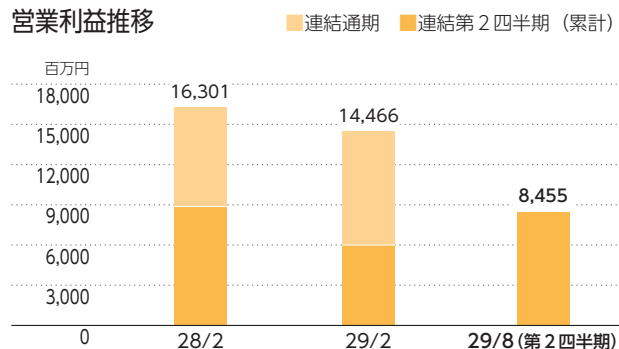
## 売上高推移



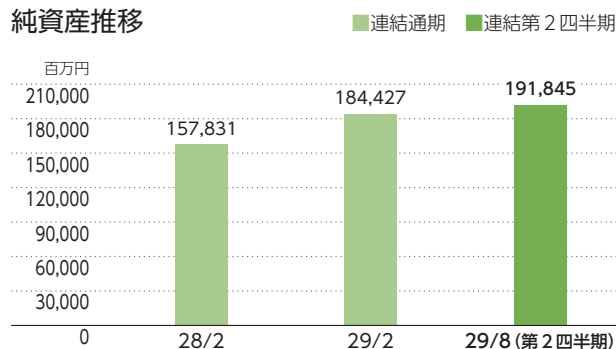
## 親会社株主に帰属する当期純利益推移



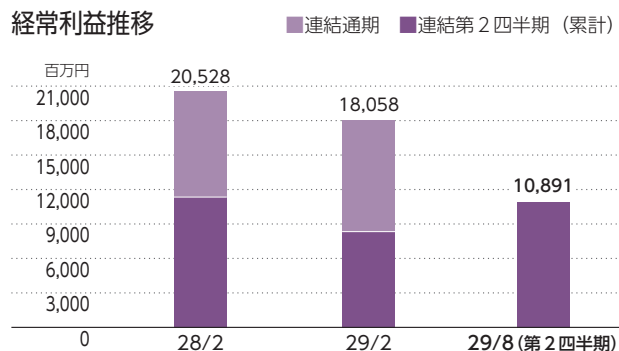
## 営業利益推移



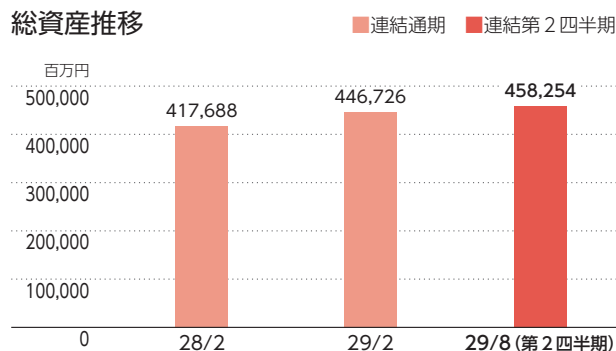
## 純資産推移



## 経常利益推移



## 総資産推移



# トピックス

## 1. Peloton Technology社へ出資

米国シリコンバレーに拠点を置くトラック隊列走行ソリューションを提供するPeloton Technology社に対し、平成29年3月にUSD300,000の出資を行いました。

## 2. 米国岡谷鋼機会社シリコンバレー事務所を開設

米国岡谷鋼機会社は、平成29年4月にシリコンバレー事務所を開設しました。先端技術や社会課題解決型ビジネスモデルが集積するシリコンバレーで、新たなビジネス構築を推進します。



シリコンバレー事務所の入居ビル

## 3. 子会社2社を統合

岡谷サービス株式会社が、平成29年6月に岡谷ホームズ株式会社を会社分割方式で承継し、岡谷サービス&ホームズ株式会社に社名変更しました。

## 4. 南通虹岡鋳鋼有限公司が開業式を開催

虹技株式会社との合併で設立した南通虹岡鋳鋼有限公司が、平成29年7月に開業式を開催しました。自動車用プレス金型鋳物の製造・販売を行います。

## 5. 九州北部豪雨への義援金寄付

平成29年7月に九州北部で発生した豪雨により被災された方々に対し、50万円を義援金として寄付しました。

## 6. 自動走行清掃ロボット「TOギャザー」を開発

株式会社竹中工務店と共同で、作業所等での負担軽減策として、自動的に清掃対象物をかき集めるロボット「TOギャザー」を開発しました。



TOギャザー

## 7. チャリティーコンサート開催

名古屋市の日本特殊陶業市民会館において、今回で5回目となる、「OKAYA CHARITY CONCERT 2017 ~ 感謝の夕べ ~」を平成29年7月に開催し、2,296席全席完売となりました。チケット売上金と当社からのマッチングギフト、皆様からお預かりした募金の合計481万円余を社会福祉法人愛知県共同募金会に寄付しました。



## 8. アイサンテクノロジー株式会社、株式会社ティアフォーと業務提携

自動運転技術の中でも先行して将来の新たな市場形成が見込まれる、一般道におけるワンマイルモビリティに着目し、3社で事業化に向けた業務提携を行いました。

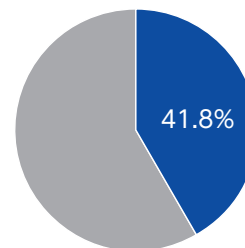
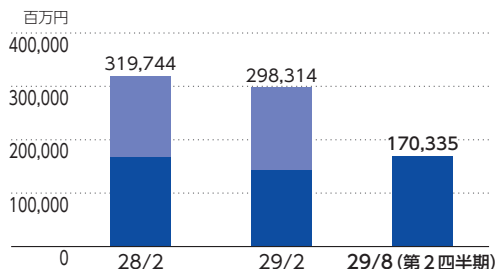
# セグメント情報

## 鉄鋼



鉄屑、棒鋼、鋼矢板、H型鋼、鋼板、鋼管、機械構造用炭素鋼、合金鋼、軸受鋼、工具鋼、ステンレス鋼 他

### 売上高推移



鉄鋼部門は、鋼材価格の回復に加え、土木・建築向けで数量を伸ばし、好調でした。

特殊鋼部門は、建機等の産業機械や自動車の生産が国内外で持ち直し、好調でした。

海外は、鋼材価格の回復及び北米向けで数量を伸ばし、好調でした。

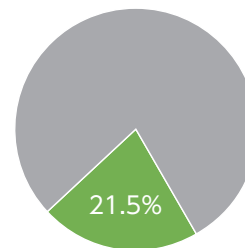
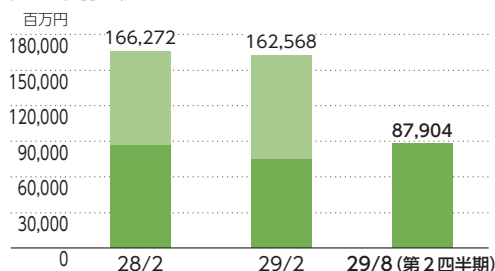
鉄鋼セグメントの売上高は、1,703億35百万円（前年同期比17.5%増）となりました。

## 情報・電機



銅・アルミ、レアアース、電子部材、汎用電機品、映像機器、半導体・周辺電子部品、ソフトウェア開発・販売 他

### 売上高推移



非鉄金属部門は、原材料価格の上昇に加え、自動車関連や電子部材を中心に国内外で需要が伸び、好調でした。

エレクトロニクス部門は、通信機器関連が減少しましたが、自動車関連やFA関連が底堅く推移し、堅調でした。

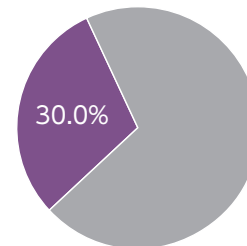
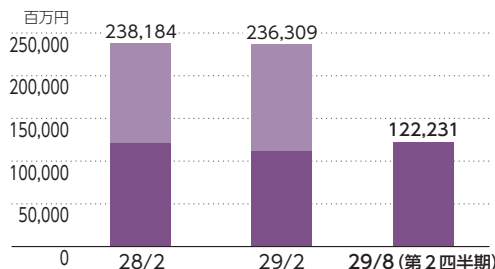
情報・電機セグメントの売上高は、879億4百万円（前年同期比17.3%増）となりました。

## 産業資材



工作機械、工具、産業用ロボット、自動車部品、合成樹脂原料、樹脂成形品、環境・リサイクル対応設備、半導体・電子関連設備機器 他

### 売上高推移



化成品部門は、樹脂原料価格の上昇に加え、自動車関連などで数量を伸ばし、大幅に増加しました。

メカトロ部門は、海外は設備の輸出が落ち込みましたが、国内は設備機械、部品・工具が伸び、順調でした。

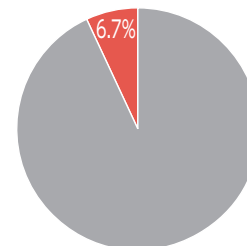
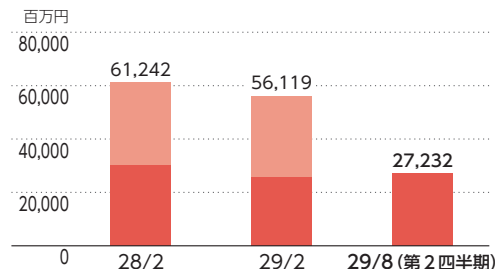
産業資材セグメントの売上高は、1,222億31百万円（前年同期比9.4%増）となりました。

## 生活産業



配管資材、住設機器、住宅用資材、不動産開発、分譲マンション、水産物、畜産物、倉庫業 他

### 売上高推移



配管建設部門は、建築物の請負工事が減少しましたが、需要の緩やかな回復を受け配管資材、分譲マンションの販売が共に増加しました。

食品部門は、水産物の輸入が落ち込みましたが、鶏肉・鶏肉加工品等の販売が増加しました。

生活産業セグメントの売上高は、272億32百万円（前年同期比5.0%増）となりました。

# 四半期連結財務諸表

四半期連結貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

科目	当第2四半期連結会計期間 (平成29年8月31日現在)	前連結会計年度 (平成29年2月28日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産	269,030	258,364
固定資産	189,223	188,361
有形固定資産	39,728	40,215
無形固定資産	1,278	1,292
投資その他の資産	148,216	146,853
資産合計	458,254	446,726
<b>負債の部</b>		
流動負債	214,758	208,105
固定負債	51,650	54,192
負債合計	266,408	262,298
<b>純資産の部</b>		
株主資本	124,427	117,817
資本金	9,128	9,128
資本剰余金	7,798	7,798
利益剰余金	107,956	101,345
自己株式	△ 456	△ 455
その他の包括利益累計額	58,515	57,837
その他有価証券評価差額金	57,195	56,771
繰延ヘッジ損益	△ 21	△ 49
為替換算調整勘定	△ 198	△ 150
退職給付に係る調整累計額	1,540	1,267
非支配株主持分	8,902	8,772
純資産合計	191,845	184,427
負債純資産合計	458,254	446,726

四半期連結損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科目	当第2四半期連結累計期間 (平成29年3月1日から 平成29年8月31日まで)	前第2四半期連結累計期間 (平成28年3月1日から 平成28年8月31日まで)
売上高	407,702	357,474
売上原価	379,199	332,449
売上総利益	28,502	25,024
販売費及び一般管理費	20,047	19,021
営業利益	8,455	6,003
営業外収益	3,338	3,216
営業外費用	902	888
経常利益	10,891	8,330
特別利益	3	18
特別損失	33	145
税金等調整前四半期純利益	10,860	8,204
法人税、住民税及び事業税	3,415	2,616
法人税等調整額	△ 396	△ 162
四半期純利益	7,841	5,749
非支配株主に帰属する四半期純利益	363	263
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,478	5,486

四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科目	当第2四半期連結累計期間 (平成29年3月1日から 平成29年8月31日まで)	前第2四半期連結累計期間 (平成28年3月1日から 平成28年8月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,792	9,152
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,493	△ 2,090
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,498	△ 6,516
現金及び現金同等物に係る換算差額	19	△ 616
現金及び現金同等物の増減額	△ 1,180	△ 71
現金及び現金同等物の期首残高	7,979	7,191
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,798	7,119



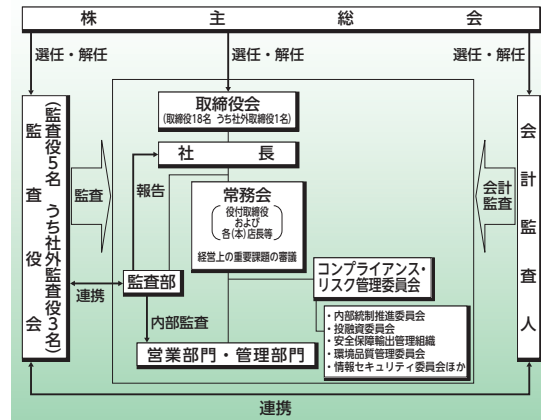
# 内部統制システムに関する基本的な考え方およびその整備状況

## 1. 基本的な考え方

企業としての社会的責任を自覚し、コーポレート・ガバナンス、コンプライアンスおよびリスク管理を経営の重要な課題と位置付けており、課題達成のためのインフラとして内部統制システムを位置付け、継続的に充実・強化を図っております。

## 2. 整備状況（詳細は当社ホームページをご参照ください。 <http://www.okaya.co.jp/>）

- ① 取締役・使用人の職務の執行が法令および定款に適合することを確保するための体制
- ② 取締役の職務の執行に係る情報の保存および管理に関する体制
- ③ 損失の危険の管理に関する規程その他の体制
- ④ 取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制
- ⑤ 当社および子会社から成る企業集団における業務の適正を確保するための体制
- ⑥ 監査役の職務を補助すべき使用人に関する事項、当該使用人の取締役からの独立性に関する事項、当該使用人に対する指示の実効性の確保に関する事項
- ⑦ 当社および子会社の取締役および使用人が監査役に報告するための体制その他の監査役への報告に関する体制、報告をしたことを理由として不利な取扱いを受けないことを確保するための体制
- ⑧ その他監査役の監査が実効的に行われることを確保するための体制



## 利益配分に関する基本方針および株主優待について

### 1. 配当政策

当社グループは、株主に対する利益還元を企業経営の重要政策の一つと考えており、競争力を維持・強化して株主資本の充実に努めつつ、配当を行うことを基本方針としております。

### 2. 株主優待

当第2四半期末（平成29年8月期）株主優待として、8月末保有株式数200株以上の株主様に、《山の幻 愛知米ミネアサヒ5kg》をお贈りします。

なお、当期末（平成30年2月期）保有株式数100株以上の株主様に、《山の幻 愛知米ミネアサヒ5kg》をお贈りします。

また、長期保有株主様向け優待として、半期毎（2月末および8月末）の株主名簿に同一株主番号で連続6回以上記載されていることを条件とし、当第2四半期末（平成29年8月期）保有株式数100株以上の株主様に《図書カード1,000円相当》を、当期末（平成30年2月期）保有株式数100株以上の株主様に《図書カード2,000円相当》をお贈りします。

転居などにより、株主優待品をお届けできない場合があります。  
確実にお届けするため、転居などによりご住所が変更となった株主様は、住所変更のお届出をお願いいたします。



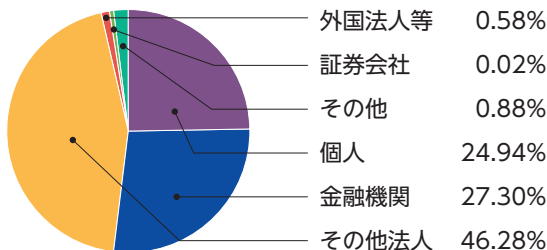
# 株式の状況 (平成29年8月31日現在)

## 株式の状況

株式数	
発行可能株式総数	35,571,200 株
発行済株式の総数	9,720,000 株
株主数	3,542 名

## 株式分布状況

### 所有者別割合



## 大株主の状況

株主名	持株数 千株	持株比率 %
岡谷不動産株式会社	1,214	12.60
岡谷篤一	482	5.00
株式会社三菱東京UFJ銀行	462	4.80
新日鐵住金株式会社	424	4.40
三井住友信託銀行株式会社	402	4.17
株式会社りそな銀行	265	2.75
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	251	2.60
岡谷鋼機社員持株会	193	2.01
オークマ株式会社	163	1.69
公益財団法人真照会	138	1.43

- (注) 1. 持株比率は自己株式 (86,070株) を控除して計算しております。  
 2. 公益財団法人真照会は、将来社会に貢献し得る人材を育成し、併せて学術・技芸の振興を図るために必要な奨学援助をなすことを目的として、大正6年に創設されました。

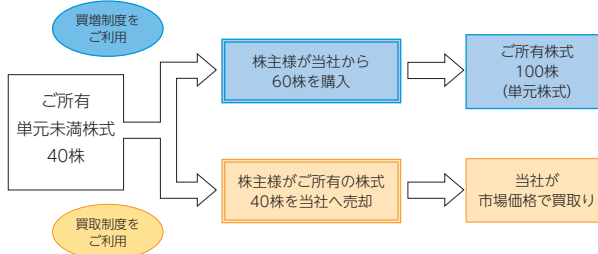
# 株式に関するお知らせ

## 単元未満株式の買取・買増請求について

当社の株式は1単元が100株となっており、単元未満株式(1~99株)については市場での売買はできませんが、当社に対して買取請求(売却)、または100株(1単元)となるよう買増請求(購入)をすることができます。お手続きの方法および用紙のご請求は、裏面記載の連絡先にお申し出ください。

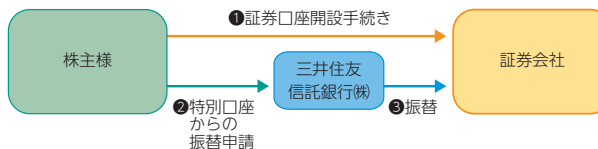
### 【単元未満株式買増・買取制度例】

○単元未満株式40株をご所有の株主様の場合



## 特別口座から証券会社の口座への振替申請について

特別口座\*に記録されている株式については、特別口座のままでは売買できません(単元未満株式を除く)。様々なお手続きを円滑に行うためにも証券会社の口座への振替申請をお勧めします。



※特別口座  
株券電子化前にほふり(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった場合に、当該株式が記録される口座です。

## 株主メモ

事業年度 毎年3月1日から翌年2月末日まで  
 定時株主総会 5月  
 配当金支払株主確定日 期末配当 2月末日  
 中間配当 8月31日  
 公告の方法 電子公告  
 ただし、電子公告によることができない  
 やむを得ない事由が生じたときは、日本  
 経済新聞に掲載いたします。

電子公告掲載ホームページアドレス

<http://www.okaya.co.jp/ir/pn/>

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
 三井住友信託銀行株式会社  
 連絡先 〒168-0063  
 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)  
 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の  
 全国本支店で行っております。

## ホームページのご案内

岡谷鋼機のホームページでは、決算短信  
 の詳しい財務データや各種IR情報を掲載  
 しています。  
 是非一度ご覧ください。



・岡谷鋼機ホームページアドレス  
<http://www.okaya.co.jp/>

## 株式に関するお手続きについて

株式に関するお手続きは、①証券会社の口座に記録されている場合と、②特別口座に記録されている場合で、下記のとおり異なりますので、該当の窓口にお問い合わせください。

証券会社の口座に記録された株式	
お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先
<ul style="list-style-type: none"> <li>単元未満株式の買取・買増請求</li> <li>届出住所・姓名などのご変更</li> <li>配当金の受領方法・振込先のご変更</li> </ul>	□座を開設されている 証券会社
<ul style="list-style-type: none"> <li>郵送物の発送と返戻に関するご照会</li> <li>支払期間経過後の配当金に関するご照会</li> <li>株式事務に関する一般的なお問い合わせ</li> </ul>	三井住友信託銀行 株式会社証券代行部

特別口座に記録された株式	
お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先
<ul style="list-style-type: none"> <li>単元未満株式の買取・買増請求</li> <li>特別口座から証券口座への振替請求</li> <li>届出住所・姓名などのご変更</li> <li>配当金の受領方法・振込先のご変更</li> </ul>	三井住友信託銀行 株式会社証券代行部
<ul style="list-style-type: none"> <li>郵送物の発送と返戻に関するご照会</li> <li>支払期間経過後の配当金に関するご照会</li> <li>株式事務に関する一般的なお問い合わせ</li> </ul>	

## 「配当金計算書」について

配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねて  
 おります。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。ただし、株式数比例配分  
 方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社にて行われます。確定申告  
 を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いします。

なお、配当金領収証にて配当金をお受取の株主様につきましても、配当金支払いの都度「配当金計算書」を同封  
 させていただきます。

確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。